

民報 ゆうばり

12月議会できまがい桂子市議が質問

子育て世代も、市職員も、高齢者も安心のまちに！



12月議会でも再質問に立つ、くまがい桂子市議 (2013.12.11.)

2013年12月10日から開催された第4回定例市議会において、日本共産党のくまがい桂子市議は、以下の3件についていただきました。議会での質疑の概要をお知らせします。

★教員の加配・支援員の増員・就学援助の拡大を

1、教育・子育て環境の整備を

質問1 小中学校教員の加配、特別支援教育支援員を増員を。

答弁1 現在、小学校で2名の加配を、

新年度は2名増の4名の加配、中学校については現在1名の加配を新年度も引き続き要請中。特別支援員は小中各1名であるが、雇用時間の増について協議中。人材の確保に非常に苦慮している現状。

質問2 就学援助の拡大を。

答弁2 就学援助の枠拡大については、89名が利用中。破綻前には生活保護基準の1.3倍であったが、破綻後は1.1倍で、H17年度からは国庫補助が廃止され、本市の状況は大変厳しい。

要望 保護者に働く場がない、生活保護の切り下げ等で、修学旅行に行けない児童もいる。次代を担う子どもたちのため、全庁を挙げて最大限の努力していただきたい。

質問3 その他の子育て支援、子育て支援センターの拡充を。

答弁3 ふれあいト

ークにおいて、子育て世代の方たちから医療費無料の対象年齢引き上げ、放課後の少年団活動での体育館の暖房利用、学校支援員の増員、部活や学力向上等貴重な意見をいただきたい。移住・定住対策にも重要な施策であることから、まちづくりの最重要課題の一つとして、積極的に取り組むを進めたい。今年度中に総

要望 市民団体、保育園、NPOなどとの共同も含め最大級の努力を。

質問 職員の人員配置・待遇について

答弁 職員の状況

2、職員の人員配置と待遇改善を

3、高齢者も安心の市民生活を

質問1 地域包括支援センターの充実に

ついて

答弁1 地域包括支援センターは、介護の中核的機関。民生委員、町内会、医療機関、介護保険事業所などより一層の連携を図るとともに、役割について、市民の普及啓発に努め、関係者からの情報提供に基づきデータ上の更新を行うなどして、支援が必要が高齢者の把握と相談支援の充実に努め、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを推進したい。

質問2 デマンド交通

通(電話予約で乗合運

答弁2 市民の足を

確保するため、市民にとつて利用しやすく、市の財政負担を軽減し、さらには交通事業者の経営改善を図るための取り組みとして、利用者ニーズにに応じて柔軟な運航を行う、公共交通の形態として、デマンド交通を検討中。南部・楓・真谷地においてアンケート調査を実施しており、デマンド交通導入の可能性について検討を進める。

質問3 福祉灯油の

実施を。

答弁3 福祉灯油についてはH19、20年度と活用できる財源があったことで実施したが、今年度は状況が異なり、困難。

要望 誰もが安心して人生の終末期を迎えられる、高齢者福祉政策「地域包括ケアシステム」の構築を。また、誰もが安心して住み続けるために、各方面の専門家の知識や情報を集めながら、まちづくりを。

★地域包括支援センターの充実、デマンド交通・福祉灯油の実現を

「2014・新春のつどい」開催

1月11日、共産党夕張総合後援会と夕張市委員会の共催で「2014 新春のつどい」が開催され、約40名の方が、はまなす会館に集まりました。

第一部は3人の方からあいさつを受けました。党南空知上田久地区委員長は、先の参議院選挙での日本共産党の躍進についてふれ、「自共対決の時代」に入ったとメデアが報じていることを紹介しました。



党南空知木村けんじ後援会長は「市民の願いを実現するために、後援会を大きくしましょう」とあいさつしました。第二部ではクイズ、輪投げ、ビンゴ等を楽しみました。第三部の参加者からのスピーチは、夕張高校の熊谷泰昌先生から「高校授業料無償」から一部所得

議案提出をできる条件が生まれ、「ブラック企業規制」の法案を提出し、政府・厚生省が長時間労働やサービスク業などの企業実態を明らかにする動きを作り出しました。また、消費税増税、TPP推進や憲法改正、「戦争をできる国」をめざす安倍自公政権とは真

＝若さあふれる笑顔で成人祭＝

くまがい市議、夕張市成人祭で宣伝

12日、今年市内で成人を迎えた75名の成人祭が清水沢研修センターで行われました。

参加者は2時からの開催に合わせて粉雪の舞う中、次々に会場に到着しました。くまがい桂子市議がお祝いのメッセージを載せたリーフを手渡しながら「おめでとうございます」と声をかけると笑顔で「ありがとうございます」と元気な声が返ってきました。



メキシコで開催されたアジア・太平洋議員フォーラム（APPF）に、自民党から共産党までの超党派の議員団で参加してきました。APPFは二十三か国の国会議員の代表が集まり、政治、安全保障、経済などの問題について、議会人として率直に話し合える貴重な会議です。全体会議では私が、各国政府が行っている法人税の引き下げ競争は国の財政と国民のくらしを圧迫しているの国際協調でやめさせようと呼びかけました。メキシコ人の議長が「斬新な提案だ」とほめてくれました。韓国、フィリピンなどの二国間会談もおこないました。フィリピン議員団は中国が勝手に「防空識別圏」を設定したことには抗議。全体会議でも中国議員団にむかって厳しい批判を展開し、同時にアメリカの覇権的な軍事戦略にも疑問を投げかけていました。どの国が相手でもはつきりものを言う自主独立の姿勢が素晴らしいとおもいました。自民党議員に「フィリピンを見習ったらどうか」というと、「ほんとは。すごいね」と感心していました。



「国会かけある記」

日本共産党参議院議員

大門 実紀史

「アジアはみな親戚」